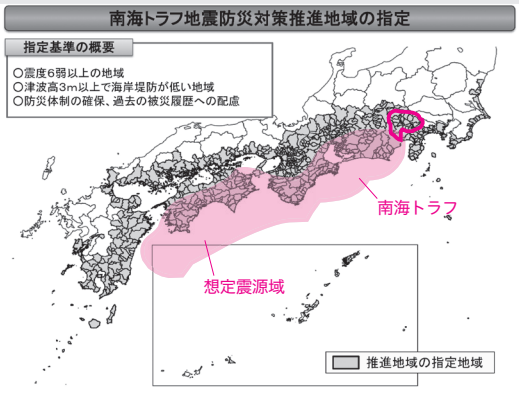
防災・減災について考えよう vol.47　問 危機管理室（☎ 62-3145）

# 南海トラフ地震臨時情報が発表されたら何をすればいいの？




南海トラフ沿いで大規模地震が発生する可能性が高まった場合に気象庁から発表される「南海トラフ地震臨時情報」、令和６年度には、初の発表を含めて２回発表され、そのうち１回は「巨大地震注意」となりました。

右の図に示されているとおり上野原市は、南海トラフ地震が発生した場合に甚大な被害が及ぶおそれがあり、地震防災対策を推進する必要がある地域として、「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されています。

この機会に「南海トラフ地震臨時情報」が発表された時の備えや行動について、確認をしておきましょう。

## 地震発生後の防災対応の流れ

**発生後**

南海トラフの想定震源域またはその周辺で **M6.8 以上の地震が発生**

南海トラフの想定震源域のプレート境界面で **通常とは異なるゆっくりすべりが発生した可能性**

発生から５分～30 分後

南海トラフ地震臨時情報（調査中）

**防災対応をとる必要あり**

- プレート境界の M8.0 以上の地震（※１）
- M7.0 以上の地震（※２）
- ゆっくりすべり（※３）

**必要なし**

- それ以外

**2時間程度～1週間※**

※ゆっくりすべりが観測された場合は、それが収まったと評価されるまで

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）

■ 日頃からの地震への備えを再確認するなど
■ 津波からの避難が間に合わない一部の地域では、引き続き１週間避難を継続

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）

■ 日頃からの地震への備えを再確認するなど

南海トラフ地震臨時情報（調査終了）

■ 通常の生活。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意

**1週間～2週間**

・警戒措置を解除し、さらに１週間、地震への注意措置をとる。

■ 日頃からの地震への備えを再確認するなど

■ 地震の発生に注意しながら通常の生活を送る。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意

**2週間～**

■ 地震の発生に注意しながら通常の生活を送る。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意

※１　想定震源域のプレート境界で M8.0 以上の地震が発生
※２　想定震源域、またはその周辺で M7.0 以上の地震が発生（ただし、プレート境界の M8.0 以上の地震を除く）
※３　住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など